

ハローキャリアワーク通信

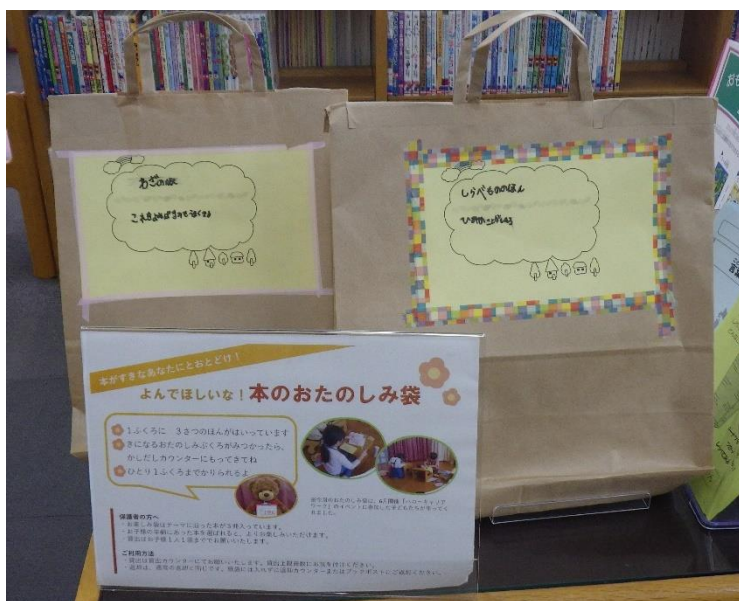
令和7年6月24日
教育総合センター
事業推進担当課



6月22日（日曜日）に、世田谷区立中央図書館で2回目のハローキャリアワークが行われました。この企画は、今回、6月8日と22日の2回実施（各回同内容）で、定員は各回10名です。また、対象学年が1学年・2学年と低学年ですが、応募総数が60数名と3倍以上あり、人気の高さが伺われました。

当日は、集合時間には全員が集まり、初めに当課の担当者より大人の自己紹介と、ハローキャリアワークのねらいと今日の流れについて説明がありました。その後、

中央図書館の方にバトンを渡し、より具体的な説明になりました。初めは、「お楽しみ袋」についてでした。各自が好きな「本」を3冊選んで袋に入れて、来館した子たちに貸し出すものとのことです。また、借りてもらえるように、袋に「～才が選んだ本」というカードに書いて貼り付け仕上げます。前回は、カードに「どんな本が入っているのか」を書いて張り付け仕上げましたが、今回は「～才が選んだ本」でした。また、1袋出来て、時間がある子は、もう1袋つくれることになりました。その際は、カードに、「～な本が入っています」と書いてあるカードを選ぶ子もいました。そして、最後に自分が作った「お楽しみ袋」1つ選んで、発表するという内容でした。さらに、もう一つのイベントとして、「保存庫」の見学が行われました。地下2階に下りていき、保存庫に入って、閲覧室に無い本が棚に並べられていました。子どもたちは、その本の数の多さに驚いているようでした。



た。また、貸し出す本を運ぶエレベーターや、動く保存庫の説明にも感心していました。

保存庫の見学が終わって戻ると、いよいよ本探しです。事前に、読んでほしい本を考えてきた子たちもいましたが、それぞれ、書架の案内図を参考に「～才が選んだ本」ということで自分の好きな本を選ぶために、フロアーへ探しに行きました。その後、「チョコレートが好きだから、お菓子の本を選んだよ！」「動物が好きだからこの本」と言いながら戻ってきました。また、カードの作成も楽



しそうに行っていました。最後の振り返りでは、その感想に、『普段は入れない場所には入れてよかった』『図書館ことをたくさん知れました』『またやりたいです』などの感想が見られました。出来上がった袋を見ると、どんな本が入っているかわかりにくいものもありました。また、1年生のこの時期では、文字の習得や丁寧さにも個人差があるので、実施時期など今後の課題と思いました。しかし、現状では、低学年主体のハローキャリアワークは、この中央図書館のみなので、とても意義深いプログラムとなっています。以下その様子の写真です。





